

つどいの広場研修事業「子育てひろば研修セミナー」<千葉開催>

『テーマ：ひろばから見えてくる子育てに必要な支援・気になる支援～つながろう CHIBA～』

残暑厳しい中、愛媛県砥部町に引き続き、千葉県市川市で「子育てひろば研修セミナー」が開催されました。どれだけの参加があるだろうとの実行委員の心配をよそに定員をはるかに超えた202名（行政関係52名、NPO110名、企業その他法人等40名）の参加でした。「最新の情報を知ることができ、今後の活動に生かせる」「どの内容ももっと時間をかけて聞きたかった」「継続してこのような会があるとよいと思った」などこのセミナーをきっかけに今後を期待する声が多く、千葉県内の関係者のネットワークをつくることが決まりました。ご参加くださった皆様ありがとうございました。

- 開催日：平成19年9月9日（日）10:00～16:00
- 会場：市川市文化会館（千葉県市川市大和田1-1-5）
- 主催／財団法人こども未来財団
- 共催／NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- 協力／「子育てひろば研修セミナー千葉開催」実行委員会・いくじネットいちかわ
- 後援／厚生労働省・（社福）全国社会福祉協議会・千葉県・市川市

<プログラム趣旨>

千葉県では30を超えるつどいの広場がありますが、「市民と行政が一緒につくる」「当事者の育ちを支える」という面ではまだ課題を抱えています。「本当に必要とされる支援」とは何か？人によって必要とされる支援は違います。今回初めてセミナーを開催することによって、各地の情報を交換しながら、県内の関係者のネットワークを構築します。

●主催者挨拶

財団法人こども未来財団 高橋 吉則さん



●プログラム1 基調講演

地域子育て支援拠点事業の概要と展望

厚生労働省 政策企画官（前少子化対策企画室長） 度山 徹さん



資料の「NPOのつぶやき 行政のつぶやき」（次世代育成支援協働フォーラム in ひろしま）の7コマ漫画は、会場の笑いを誘いました。

こんな状況にならないために行政、NPO等が共通の目標を持って対等な立場でそれぞれの長所を生かしながら協力し合うことが大切です。行政職員にはコーディネートする力も求められています。

（度山さんは、8月末に異動が決まり、公式には最後の講演になりました。）

●プログラム2 パネルディスカッション 「市民と行政、みんなでつくる子育て支援拠点」

【基調講演・コーディネーター】柏女靈峰さん 淑徳大学総合福祉学部 教授



地域子育て支援者のコンピテンシー（力量）が求められます。環境を設定する、関係をつくる、相手を知る、支援する、振りかえる・学ぶことが大事です。

【パネリスト】度山 徹 さん 厚生労働省少子化対策企画室
【パネリスト】玉浦 洋子 さん 千葉県健康福祉部児童家庭課



県はNPOとの協働に力を入れています。
県民のニーズを生かすためにも意見を聞かせてください。



【パネリスト】奥山 千鶴子 さん NPO法人びーのびーの 理事長



私達も行政のしくみを知る必要があります。
縦割りの行政を横につなげるのも私達NPOの役割ではないでしょうか。

【パネリスト】木田川直子さん 子育てネットワーク ジャングルジム 代表



行政の担当者には、支援のあり方のデザインを、親ができるることは親が担うことで、子育ての継承に近い自然の支援が生まれるのではないでしょうか。

●プログラム3 分科会

<分科会1>

行政と市民の協働とは～出しあおう！行政のできること、市民の持つ力～

事例報告をもとに質疑応答を交えながら話し合いました。

【コーディネーター】奥山千鶴子さん NPO法人びーのびーの理事長

【コメントーター】柏女靈峰さん 淑徳大学総合福祉学部 教授

【事例報告】龍崎和則さん 市川市こども部子育て支援課



現在は、NPOと一緒につくっている実感
はあります。今後、ひろばづくりが進ん
でいく中で引き受けてのNPOがなかなか
見つからないのも悩みの一つです。



【事例報告】高梨誠二さん 浦安市こども部こども家庭課



NPO法人あい・ぽーとステーションと協働して「子育て・家庭支援者養成講座」を進めています。

【事例報告】荒久美子さん

NPO法人松戸子育てさぽーとハーモニー 理事長

一時保育ボランティア養成講座の受講をきっかけにNPOを立ち上げました。子ども館、子育てひろばなどを松戸市から受託しながら、行政との真のパートナーシップをめざしたい。



<分科会2>

ワークショップ スタッフの悩み、喜び、わかちあい

小グループに分かれてスタッフの悩みや喜び、課題の解決のヒントを探しました。

【コーディネーター】

木下敏子さん

NPO法人日本子育てアドバイザー協会 理事長



子育てに関する情報は日々変化しています。病気や離乳食などについて、常に新しい情報をテレビや新聞の家庭欄などから得るよう心がけるといいでね。



あっという間に時間がたってしまった。他のひろばで活動されている人たちの話が聞けてよかったです。こういう機会が必要だと感じました。



<分科会3>

あなたもひろばをはじめてみませんか

～いろいろなひろばの紹介～

【コーディネーター】

石田尚美さん NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー 副理事長



子育てひろばには、さまざまなタイプがあります。
これから聞く予定の方の参考になれば幸いです。



【コメントーター】

森下久美子さん 武藏野市 子ども協会 理事



子育て支援ではなく、「子育ち支援」が本来の意味。子どもは自ら育つもの。大人は子どもたちが育ちやすくするために環境を整えたり、励ましたり見守ったりするのが役割です。

【事例①】
現役ママが活躍する子育てサロン
中島純子さん
NPO法人 i-net

【事例②】
企業がひらく子育てひろば
関一子さん
生活協同組合ちばコープ



【事例④】
児童館で地区社協が行うひろば活動
小林新子さん
柏市永楽台地区社協 主任児童委員
菅井治子さん
柏市しこだ児童センター

【事例③】
2つの違ったタイプの
子育てひろば
駒野光枝さん
NPO法人子育てひろばほわほわ



<分科会4>

子育てひろばってなあに

～利用者の声をもとに、子育てひろばの意義を再確認～

【コーディネーター】 幸前文子 いくじネットいちかわ 代表



ひろばの利用者アンケート
やインタビューをもとに、
小グループに分かれ、子育
てに本当に必要な支援とは
なにかを話し合いました。



【コメンテーター】 新澤拓治さん 江東区大島子ども家庭支援センター センター長



きょう参加した人たちが自分の
ひろばで、大事にしたいことをス
タッフ同士で話し合うことが大
切です。

●プログラム4 全体会（各分科会のまとめ）



各分科会ごとのまとめが報告さ
れました。
この研修セミナーをきっかけに
誕生したネットワークへのご参
加をお待ちしています。

以上